

令和3年度第1回 土岐市病院事業指定管理者評価委員会 要旨

日 時 令和3年9月6日(月) 午後1時30分～午後2時45分

場 所 すこやか館4階大研修室

出席者 田伏英晶委員長(土岐医師会理事)、具原重治委員(土岐市代表監査委員)、宮地喜博委員(土岐市連合自治会理事)、可知路博委員(総務部長)
オブザーバー 水野理事

事務局 黒田健康福祉部長、可児J A岐阜厚生連常務理事、原田J A岐阜厚生連理事、加藤土岐市立総合病院事務局長、林総合病院企画総務課長、小池保健センター次長、古田保健センター副主幹、長江保健センター総括主任主査

議 事

土岐市病院事業令和2年度実績に係る評価について 他

まとめ

土岐市病院事業指定管理者評価委員会では、土岐市病院事業の4施設(土岐市立総合病院、土岐市国民健康保険駄知診療所、土岐市老人保健施設やすらぎ、土岐市訪問看護ステーションときめき)について、コロナ禍においての実績であり、評価は非常に難しいところですが、適正な管理という点からも評価が必要なことから評価を行いました。

評価項目について、土岐市立総合病院においては、13項目、土岐市国民健康保険駄知診療所においては、4項目、土岐市老人保健施設やすらぎにおいては、4項目、土岐市訪問看護ステーションときめきにおいては、3項目に区分し、評価しました。

土岐市立総合病院については、概ね市の評価と同様です。

1. 医療機能 安全管理・倫理管理の項目について、防犯カメラの増設等施設の管理が改善され、また、来院者の健康管理を徹底するなど感染症対策の強化に努めたことから評価を4としました。2. 政策的医療 救急医療の項目について、コロナウイルス感染症という全く予期しない状況において、県の要請に応じ、診療検査医療機関や後方支援病床確保医療機関の指定を受け、感染症患者及び感染症疑い患者の受入体制の整備にいち早く着手するなど、地元医師会と連携して地域の感染症対応に貢献したことから評価を4としました。3. 地域医療連携 地域医療機関との連携・協力の項目について、指定管理に移行し、厚生連と一体化したことにより、地域医療機関との連携が円滑に機能した、また、健康寿命の延伸に視点を置いた健康管理事業を積極的に展開し、人間ドッグ等の受診者数の大幅な増加を図ったことから評価を4としました。7. 事業報告・経費の収支状況等の項目について、コロナ禍で経営的な評価は難しいがフレキシブルに対応し、交付金を返納できたため、単年度で見れば市の評価と同様に評価を4としました。

土岐市国民健康保険駄知診療所について、事業計画書に沿って事業が実施されました。各項目の評価は、市の評価と同様です。

土岐市老人保健施設やすらぎについて、各項目の評価は、市の評価と同様です。評価が2という項目もあり、運営状況を改善するため、情報収集に努め、また、介護福祉士の確保に努めていただきたい。

土岐市訪問看護ステーションときめきについて、計画どおり事業が実施されました。各項目の評価は市の評価と同様です。

各施設の評価の詳細は、施設ごとの指定管理者評価シート等のおりとなります。